

活字に触れ自己表現力を

学院大 就職講座で先輩が助言

金沢学院大学就職委員会と就職指導部は七月十六日、講堂で、就職教育講座の一環である卒業生講演会「先輩に聞く」を開き、在学生約二百十人が、卒業生六人の体験談やアドバイスを聞き入りました。



後輩たちに就職活動のアドバイスをする卒業生 = 講堂

講演した先輩たちは
島田美希子（北國新聞

職場体験実習の準備講座

就職に向けた職場体験実習の準備として七月七日から十四日まで四回にわたってマナー



研修が行われ、参加した四十人の学生が、企業内におけるコミュニケーションの基本を学びました。
このうち第二回講座「写真」では、西川峰高教授の指導で服装や礼儀や所作の基本などを学びました。話し方の基本として「恐れ入ります」「かしこまりました」「お待たせしました」など十個の用語をマスターしました。

大家県警刑事部長が短大で講演



講演する大家刑事部長

金沢学院短期大学のプレゼミナール特別講義は七月二十日、講堂で行われ、石川県警刑事部長の大家守男氏が「最近の犯罪情勢について」事件・事故に遭わなかったために「」をテーマに講演しました。

大家部長は、インターネットによる通信販売のトラブルや、携帯電話を利用した詐欺など、最近の悪質、巧妙な犯罪手口を紹介して注意を呼びかけました。前交通部長として、免許取立て、あるいは取得しようとしている学生に安全運転の心構えも話しました。

津美（ウイルコーポレーション、美術文化学部）、吉見沙織（丸菱、美術文化学部）の皆さんで、平成十年度から十五年度までの卒業生。卒業生は「新聞を読んで知識を増やし、時事問題に強くなった」活字に触れて

自己表現力を高めた「など」とアドバイスしました。写真記者の島田さんは、「実はカメラについての知識は全然なかったが、何に興味があるかで職種を選ぶことが大切」とアドバイスしました。

ステージ、各種展示にぎわう

金沢東高校で真夏の文化祭

金沢東高校の文化祭は七月二十二日、校内で行われ、ステージでの各種



演目「写真上」と各教室を会場にした展示「写真下」やゲームなどでにぎわいました。
二学期制の導入に伴い、昨年夏休み前に時期をずらして行われています。今年は食中毒などの防止のため、生徒ら運動場の模範店中止されました。

文学部で国際交流の第二弾

文学部の第二回国際交流活動は七月二十日、米国人高校生十人を迎えて行われ、日本語教授法受講の学生が「七夕遊び」をテーマに語学の指導方法を学びま

した。学生らは、願い事を短冊に書いたり、折り紙飾りの作り方を英語で教え、七夕の歌「を合唱しました。チーム対抗のジェスチャーゲームでは、形態模写を楽しみながら文化の違いに触れました。

無料ソフトの使い方を指導

第二回土曜大学開く

基礎教育機構主催の土曜大学第二回講座は七月三日、2号館で、「オープンオフィスを使った表計算処理」をテーマに開かれました。

岡田政則教授が参加者にマイクロソフトオフィスと互換性のある無料ソフト「オープンオフィス」を紹介し、エクセルと同様の表計算ソフトの使い方実技指導しました。参加者は、約三時間の実技練習で、グラフや表の作り方や関数の使い方などの基本を学びました。
次回の土曜大学は八月七日に行われます。



パソコンに向かい実技指導を受ける受講者

発行・広報室

2号館